

当市の和牛改良に大きく貢献  
狭き門の岩手県選抜を勝ち抜き全国へ

## 和牛にかける熱き思い

和牛のオリンピックと呼ばれる第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に出場し、第3区(生後17~20ヵ月未満の若雌)で見事優等賞を受賞したあさひ号の生産者に現在の思いなどを聞きました。

### ■きっかけは

先代が黒毛和牛を育てていました。自分は退職後にそれを引き継ぎました。

### ■黒毛和牛飼育の大変さ

牛舎で育てるので、毎日飼育管理をしなければならいのが大変です。短角に比べて体が弱く、病気がかかりやすいこともあり、見落としがないよう妻と子と3人で協力しながら飼育しています。なかでも出産や子牛の飼育が一番大変です。細心の注意を払って育てています。生き物が相手なので、365日年中休みなしです。

### ■あさひ号について

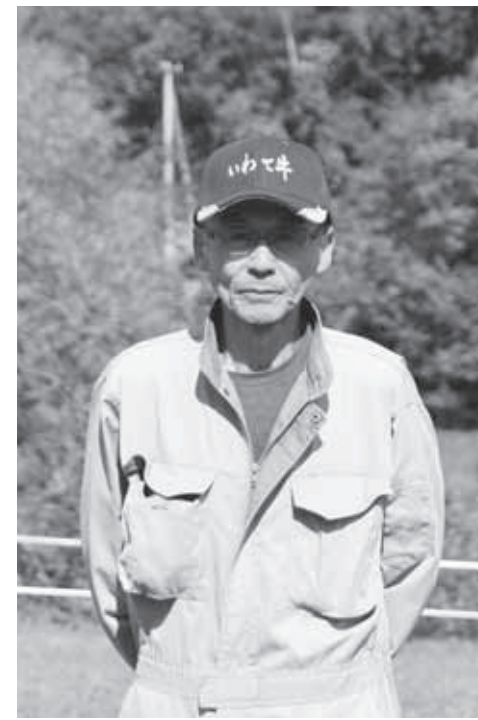
交配する段階で母牛を見て選びました。雄雌どちらが生まれるかは賭けになります。雌が生まれたときは一先ず安堵しました。

### ■大会に向けて

スケジュール管理が大変でした。高値で取り引きされるわけではありませんし、時間も手間もかかります。主に息子が行っていますが、綱一本での調教や毎朝の散歩、「繫」と呼ばれる美しい立ち姿にも力を入れて訓練しました。月齢に合わせて徐々に時間を延ばし、最終的には1日6時間同じ姿勢をキープさせます。足が熱くなるので、水で冷やししながらトレーニングを行いました。

### ■大会を終えて

審査発表のときは、ドキドキしました。優等賞という賞をいただくことができ、本当にうれしく思います。頑張ってくれたあさひ号やここまで支えてくれたみなさんに、心から感謝を伝えたいです。



Name  
**栃元 昇** さん  
とちもと・のぼる(山形町・64歳)

Profile  
平成元年岩手県畜産共進会黒毛和牛の種若雌の部で「はなみ号」最高位の名誉賞受賞



## 集まれ！ 元気の輪

久慈シニアソフトボールクラブ  
代表：熊谷一雄さん  
活動日・練習場所／毎週木曜日13時~15時・旧長内中学校グラウンド  
5月~8月の火曜日は5時~7時・長内中学校グラウンド  
9月~4月の火曜日は13時~15時・旧長内中学校グラウンド

試合形式の練習風景



ユニフォームで記念撮影するサークルの皆さん

久慈シニアソフトボールクラブは平成29年に設立された男子ソフトボールクラブで60代~80代の28人で活動しています。メンバーの親睦や健康増進を目的に週2回の練習を実施。高校や社会人で野球をしていた人も多く在籍し、守備練習をした後、試合形式で汗を流しています。シニア、ハイシニアの各種大会にも参加。全国大会を目指して練習に励んでいます。

60歳以上の元気なシニア世代の人、一緒に活動しませんか。参加希望の人は火曜日から木曜日の練習時間内に直接活動場所までお越しください。

## 市民センターだより

大川目市民センター  
☎55-3250



### 大川目市民センター事業紹介

## 町民の素晴らしい能力を生かして

大川目市民センターは、町民が講師になり、知識や経験、特技などを生かして町民に講座を開く企画を立案。講師をセンター報で募集しました。

第1回の講師は釜石警察署長などを歴任し、退職後大川目に住んでいる笹森正明さん。

笹森さんは、他人の話だと思っている危険ドラッグも、インターネットで誰でも手に入れることができる可能性があることを説明。最近市内でも発生している高齢者をターゲットにした還付金詐欺やプリペイドカード詐欺など、実際にあった例を交えながら話しました。かなり踏み込んだ内容に、参加者からは「今日聞いたことを忘れないで生活したい」、「説得力がすごかった」などの声が上がりました。

大川目市民センターでは、これからも地域を盛り上げるために、さまざまな事業を行っていきます。

11月12~13日は9時から「よみがえる久慈城と大川目の歴史~久慈城跡県指定記念展示会~」を大川目市民センターで開催します。ぜひご来場ください。

## 新天地で頑張ります！

10月1日付で、地域おこし協力隊に着任した橋本拓也です。

東北地方は何度が訪れているのですが、生活するのは初めてです。聞きなれない方言に、少々苦戦しています。休日には、イベントや文化施設を回っています。筆筒・盆・焼き物・道具類や民俗芸能にも興味があり、祭礼や神事、仏教行事にもよく出掛けています。

市には、地域で育まれた歴史や文化が残っていますが、少子高齢化や地域コミュニティーの希薄化、生活環境の変化などにより地域の歴史や文化の継承が困難になりつつあると感じています。これから地域内外の方に知ってもらえるよう展示や啓発活動、調査に取り組んでいきます。

市内のさまざまな場所を見学したいと思いますので、関西弁の人が来たら声を掛けてください。まだまだ不慣れですが、皆さんよろしくお願いいたします。

## My life in Kuji

ダコタ・ディベイツ さん

インディアナ州・25歳 / 長内小、宇部小、長内中、宇部中、山形地区の小中学校を担当



## 初めて陶芸に挑戦！！

コーヒーカップとお皿作りに挑戦！作り方の説明や実演を見て、初めての陶芸に取り掛かりました。

まずはコーヒーカップ作り。カップの底を大きく作りすぎてしまったために、お碗のような形になってしまいましたが、講師の下嶽さんが丁寧に教えてくださり、高さが出るように成形してくれました。飲み口のところが、少し不ぞろいになってしまいましたが、それ以外はよくできたと思います。

葉っぱの形をしたお皿作りにも挑戦。こちらは自分でも満足できる作品が出来上がりました！

体験後は、陶磁器窯の様子や、最後の仕上げに塗るうわぐすりも見学。うわぐすりのほとんどが、最初の色と、完成品の色が全く違うことにとっても驚きました。ちなみに私は、コーヒーカップを薄い青、お皿を薄緑に仕上げてもらいました。

初めての陶芸体験は、とても楽しかったです！教えてくださった講師の下嶽さん、そして関係者の皆さんに感謝します。ありがとうございました。

## 協力隊通信

橋本 拓也 さん

(はしもと たくや・60歳)

2022年着任。奈良県出身。文化財を生かした事業化を目指して活動中。



展示を眺める橋本さん

●地域おこし協力隊...移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。カフェを中心とした地域の活性化、新規漁業者の確保や水産物の高付加価値化への取り組み、農泊事業の実践と推進、地域資源の商品開発・販路拡大PRなどを行います。